



Shanghai Representative Office

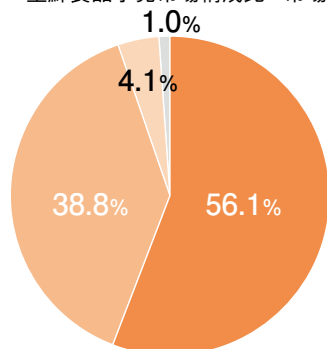
上海駐在員報告



中国における生鮮食品市場と ネットスーパーについて



図1 生鮮食品小売市場構成比・市場イメージ



市場 実店舗スーパー 宅配型スーパー その他
出典:『中国生鮮サプライチェーン業界の研究報告 2020年』(艾瑞諮詢)



近年、中国ではネット注文による生鮮食品の取引額が急増しています。

ネット産業関連のシンクタンクであるResearch(艾瑞諮詢)によると、2019年の中国全体での生鮮食品市場は、約6.8兆元(約106兆円、1元≒約15.5円)と推定されています。

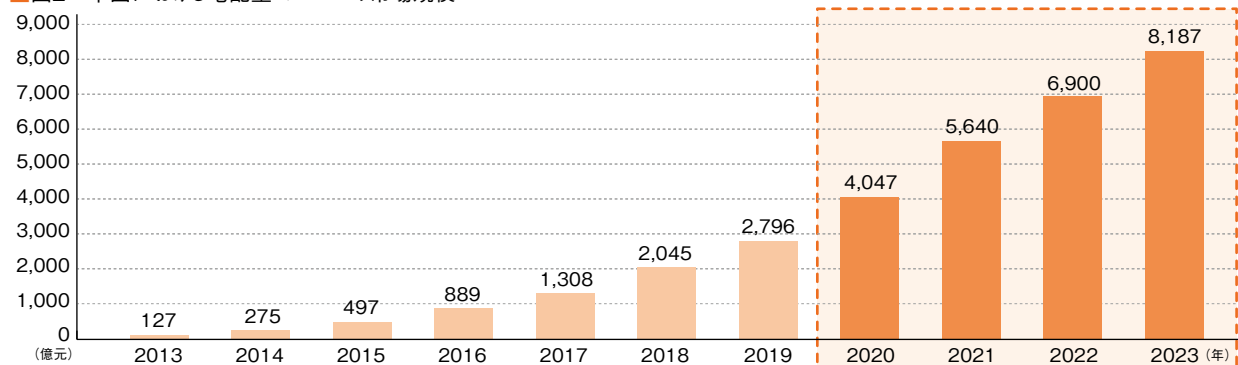
うち、ネット注文によるシェアは、現時点では4.1%ですが、今後の更なる拡大が見込まれています。〔図1〕

ネット注文による生鮮食品の取引額は、2013年は127億元(約1,969億円)でしたが、2019年には2,796億元(約4.3兆円)に拡大しています。〔図2〕

(参考:日本の全国主要百貨店の2019年の売上高は、約5.7兆円)

人口約2,400万人を誇る上海市では、生鮮食品のネット注文の中でも、アリババ系の盒马鲜生(フーマー)の利用者が多い

図2 中国における宅配型スーパーの市場規模



※2020~2023年は、予測値。
出典:『中国生鮮サプライチェーン業界の研究報告 2020年』(艾瑞諮詢)



と感じられます。

盒马鲜生は、ネット注文が主流ですが、実店舗も構えており、商品を手に取りながら買い物することも可能です。盒马鲜生では、当日入荷・当日販売に限定した生鮮食品である「日日鮮」のラインナップを取り揃えており、消費者の安心感につながっています。〔図3〕

また、届いた商品が新鮮ではないと判断された場合に返金対応することや、ネット上にて口コミ評価されること等から、品質には慎重な対応をしている様です。

さらに、大きな特徴として、注文してから30分以内に商品を届けることや、1日1回であれば配送料無料というサービスも好評の秘訣と考えられています。価格については、昔ながらの市場や、実店舗スーパーと比較した

■図3



(日日鮮の鶏もも肉・日日鮮のレタス)

■図4



(盒马にて販売されている中でも比較的安価な牛乳・生食可能と明記されている卵)

場合、1.2〜1.5倍の設定です。それでも、生産日や産地が管理されている安心感等から、利用者は増加傾向にあります。

また、中国では、フルタイムによる共働き世帯が多く、日々の買物にたくさんの時間を割けないことや、日本と比べ配達員の人件費が低いこと等も、ネット注

文を後押ししていると考えられます。

商品価格帯のイメージとしては、レタス2.5元(約39円)／400g、鶏もも肉9.9元(約153円)／300g、生で食べるができる卵(盒马では生食可否が明記されている卵あり)19.9元(約308円)／10

個、牛乳14.8元(約229円)／950mlです。中国全体として言えることですが、日本と比べると肉や野菜は安く、乳製品が高い感覚です。〔図4〕

生鮮食品の他、日本からの加工品等、多くの輸入品も取り扱われています。日本人駐在員の間では、以前は日系スーパーやデパ地下のみで買い物していた方も、近年では盒马鲜生等のネット注文と日系スーパーを組み合わせている人が増えている印象です。

福岡銀行の各駐在員事務所では、市場調査、進出のご相談、ビジネスマッチングのご依頼を承っております。現地での事情をお知りになりたい方は、ぜひお気軽に最寄りのグループ各行本・支店までお問合せ下さい。

(上海駐在員事務所 西村 康彦)